

入札監理小委員会における審議の結果報告 日本スポーツ振興センターのスポーツ施設の管理・運営業務

(独)日本スポーツ振興センター(以下「NAASH」という。)のスポーツ施設の管理・運営業務については、平成21年4月から3年間の契約期間として民間競争入札を実施しているところ。契約期間終了後の平成24年4月からの事業については、3年以上の複数年契約により民間競争入札を実施する旨、公共サービス改革基本方針(別表)に定められている(2期目)。

これに基づき、当該民間競争入札の実施要項(案)を入札監理小委員会において審議を行ったので、その結果を以下のとおり報告する。

1 競争性の確保について

【論点】

前回の入札結果が1者応札であったことを踏まえ、競争性の確保に向けた対応が必要ではないか。

【対応】

- ・ 専門性の高い芝生管理業務を包括化の範囲から除外【実施要項 別紙2】
- ・ 民間事業者の参入意欲等の向上に向け、収入インセンティブ業務を設定【実施要項P2・5～7】
- ・ 実施期間を3年から5年に変更【実施要項P8】
- ・ 業務実績に係る配点を変更(加算点の1/5⇒1/10)【実施要項 別紙4】

2 減額措置について(実施要項P6)

【論点】

業務上の不備による事故等が発生した場合や、サービスの質が図られない問題点があった際にNAASHが行う指示に従わない場合に減額措置(月ごとに支払う委託費の5%)を講じることとしているが、減額の対象時期をより明確にすべきではないか。

【対応】

減額措置に該当する事象が発生した月について委託費を減額する旨、実施要項に明記。

以上